

2021年度 名古屋スバル健康経営の取り組みについて

I 名古屋スバル「健康宣言」

名古屋スバルは以下の「健康宣言」を掲げ、健康増進に取り組んでまいります。

名古屋スバル 健康宣言

「地域のお客様に選ばれ、永く愛されるカーディーラーでありたい」私たち名古屋スバルが目指す、カーディーラーの姿です。私たちが目指すカーディーラーであるためにまず、「働くすべての人を大切にすること」「働くすべての人が心身ともに健康でイキイキ働くことができること」これらを実現し続けなければならないと考えています。

「社員の健康が会社の財産」

社員の健康が最大の経営資源であるとの考えをもとに、社員が健康でイキイキ働き、笑顔と活気あふれる最高のサービスをご提供し、お客様に笑顔になっていただく。

名古屋スバルに関わるすべての人の心身の健康と笑顔をつくり続けるために会社として何ができるかを積極的に考え、実行してまいります。

II 健診結果等各種データから見える、名古屋スバル社員の健康課題（2021年度）

1. 喫煙者がまだまだ多い

昨年度から取り組んでおります喫煙対策については、取り組み目標として掲げた「喫煙率40%以下」をクリアし、従業員全体で34.7%、40歳以上で38.4%と、昨年度の目標を達成することができました。しかしながら、令和元年度の全国成人喫煙率は16.7%（厚生労働省国民健康・栄養調査）であり、まだまだ高い喫煙率であると言えます。

2. 運動不足と質の高い食習慣の不足

健診、人間ドック受診時の事前問診から健保組合が集計したデータでは「**運動習慣がない人**」が**84.5%**！と、従業員のほとんどの方に運動習慣がありませんでした。

また、健診データから食習慣の乱れ（朝食抜き、遅い夕食、栄養バランス等）が散見されます。

3. 健診・人間ドックでの再検査・精密検査、特定保健指導の受診率の低さ

定期健康診断、人間ドックで再検査、精密検査の該当者の再診率が低く（39%）、治療の遅れにつながりかねません。

また、特定保健指導においては実施率が15.5%と大変低く、愛自販健保組合加入企業17社中16位とほぼ最下位となっております。「疾病の早期発見、予防」の取り組みが進んでいないのが現状です。

【特定保健指導とは】 特定健診（40歳から74歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目した健診）の結果から、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、専門スタッフ（保健師、管理栄養士など）が生活習慣の支援を行います。メタボリスクに応じて「動機付け支援」または「積極的支援」のいずれかの支援を受け生活習慣の改善に取り組みます。

Ⅲ IVの課題を踏まえた、健康増進（健康リスク低減）の新たな取り組み

上記Ⅲを踏まえ、健康増進（健康上のリスクを低減）を目指した下記取り組みを推進致します。

これらの取り組みを推進することでプレゼンティズムを低減させ、従業員が本来持つパフォーマンスを発揮し、皆がイキイキと働く生産性が高い職場環境を目指します。

1. 全社健康経営推進の深化のための取り組み

① 各店舗で「健康経営推進担当者」を選任

店舗における健康経営の取り組み推進のため、店舗（中古車店舗含）に各1名「健康経営推進担当者」を選任する。
※担当者選任についての詳細は別途ご案内

② 「健康経営だより」の毎月発行

従業員の健康増進のための情報を毎月1回配信。

2. 喫煙率減少に向けた取り組み

全国の成人男女喫煙率（16.7%）を最終目標にし、2021年度の喫煙率目標を30%に設定します。

① 「禁煙外来」利用に関する費用補助

禁煙の意志があり、「禁煙外来」を利用し禁煙に取り組みたい喫煙者に対し、費用を全額補助致します。

但し、禁煙外来利用後1年以内に喫煙をした場合は費用を全額返還いただきます。

昨年度は会社指定の医療機関でのみ利用可としておりましたが、利用者の利便性を考え、どこの医療機関でも実施できるよう制度変更します。

3. 運動不足、食習慣の改善

① 徒歩や階段利用の積極推進

公私にかかわらず徒歩での近場への買い物や商業施設等での階段利用、ウォーキングの実施を推奨する取り組みを展開。

エントリー希望者を募り、ウォーキング用のアプリで1ヶ月あたりの累積距離で競い、最もたくさんの距離を歩いた人を「健康経営だより」で表彰します！※本取り組みの詳細は別途展開

本社は引き続き、従業員のエレベーター利用を不可とします。（但し、体調が悪い、ケガをしている、重い荷物、大きな荷物を持っている場合は除く）

② 本社2F健康器具スペースのマイナーチェンジ

運動不足になりがちな本社スタッフの運動機会創出のために設置した健康器具スペースですが、利用率が低迷しているため「いつでも」「だれでも」利用しやすいようマイナーチェンジをおこないます。

③ 会議・研修時のお弁当に「スマートミール」、お茶は「トクホ」を利用

会議、研修でお弁当が必要な場合は「スマートミール」認証を受けたお弁当、お茶は「トクホ」をご用意します。

【スマートミールとは】健康に資する要素を含む栄養バランスのとれた食事のことで、審査・認証を受けたもののみ「スマートミール」を名乗ることができます。



④ 「オフィスグリコ」商品の見直し

現在「オフィスグリコ」が設置されている店舗について、商品ラインナップを健康に良い商品への一部置換えをお願いいたします。※詳細は別途個別に相談・調整させていただきます。

「オフィスグリコ」が設置されていない店舗で、この機会に設置を希望される場合は下記P T事務局までご相談ください。

4. 健診・人間ドックでの再検査・精密検査、特定保健指導の受診率向上

① 健診・人間ドックでの再検査、精密検査該当者

人事課からの健康診断・人間ドックで再検査、精密検査に該当した方に対するご案内及び事後フォロー（確認）を強化し、受診率向上⇒疾病の早期発見、早期治療につながります。新型コロナウイルスの影響で低下した再診率を向上させ、2021年度目標値を80%に設定し、最終目標（2025年度以降）を100%とします。

② 特定保健指導

人事課からの特定保健指導対象者に対する受診勧奨案内を強化し、受診率の向上⇒生活習慣の改善につながります。また、特定健診（40歳から74歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目した健診）の対象年齢となる40歳以前から早期に生活習慣改善の取り組みができるよう、35～39歳の従業員で特定保健指導受診の基準に該当する方について、特定保健指導に準ずる生活習慣改善の支援をおこないます。

※ 各取り組みの詳細については取り組み毎に別途ご案内を展開致します。

IV 健康経営プロジェクトチーム

「名古屋スバル健康経営推進プロジェクトチーム」を中心に健康経営に関する各種取り組みを推進してまいります。健康経営の各種取り組みに関するご意見・ご要望は下記スタッフまでお知らせください。

名古屋スバル健康経営推進プロジェクトチーム（TEL：052-901-8611）

プロジェクトチーム内役職	氏名	社内役職・所属
健康経営推進プロジェクトチーム 責任者	西尾 輝英	取締役 統括管理本部長
健康経営推進プロジェクトチーム 副責任者	今枝 尚也	統括総務部 部長代理
健康経営推進プロジェクトチーム 主担当者	林 夕子	統括総務部 人事課
健康経営推進プロジェクトチーム 副担当者	今瀬 朋伸	統括総務部 人事課
健康経営推進プロジェクトチーム 副担当者	関口 幸治	統括総務部 人事課
健康経営推進プロジェクトチーム 監事（SDGs担当）	磯貝 千孝	統括総務部 部長代理

名古屋スバル自動車株式会社 健康経営推進体制

